

高齢者の転倒予防講座

～片麻痺と高次脳機能障害の理解～

脳血管障害は介護が必要となる主な原因の一つです。後遺症である片麻痺や高次脳機能障害について理解を深め、病気・転倒のメカニズム・転倒事故予防の対策に必要な知識・技術を習得します

【講師】 静岡リハビリテーション病院
リハビリテーション部理学療法科 主任 **田中 幸平 氏**

【日時】 令和2年10月6日(火) 午前9時50分～午後4時(受付は午前9時20分～)

【会場】 静岡県総合社会福祉会館 シズウエル 7階 703 会議室(静岡市葵区駿府町1-70)
※駐車スペースはございませんので、公共の交通機関を御利用ください。

【対象・定員】 老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方 **60人**
※応募者多数の場合は抽選となります。

【講座内容】

- <講義> ・片麻痺、高次脳機能障害とは
- ・転倒の特徴
- ・転倒が起きやすい状況
- ・転倒予防のための取り組み紹介
- ・片麻痺者の介助方法



<実技> ・転倒予防の運動、ストレッチ方法の紹介 など

【受講料】 **6,000円**

(ただし、所属している施設・事業所が静岡県社会福祉協議会会員の場合は4,000円)

※ 所属している施設・事業所が会員であれば、会員扱いとなります。

※ 受講料は受講承認書にてお知らせします。当日、受付で現金によりお支払いください。

【申込方法】 Web(会員向け)又は郵便でお申し込みください。

※郵便の場合は、受講申込書(別紙)に返信用封筒(宛名記入)を添えてください。

返信用封筒には84円切手を貼付してください。

【申込締切】 一次締切：令和2年 9月7日(月)

最終締切：令和2年 9月28日(月) 郵便の場合、消印有効



【主催・申込み先】 静岡県社会福祉人材センター 研修課 (担当：望月)

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 TEL：054-271-2174



静岡リハビリテーション病院
リハビリテーション部理学療法科 主任
公益社団法人静岡県理学療法士会
神経系理学療法専門部会 会長

田中 幸平 氏



受講された方の声



・脳卒中について詳しく知ることができた。
麻痺や高次脳機能障害で早く気づけば軽く済むなど、常に気を付けていこうと思った。早めの気づきが大切。
装具の機能を初めて知った。

・高次脳機能障害についても、理解を深めることができた。
実際に体を動かして実施でき、わかりやすかった。
職場でもストレッチなど取り入れていきたいと思った。

私は、主に脳卒中や骨折の患者さんを対象に、生活の自立度向上、退院支援のためのリハビリテーションを実施しています。

加齢による身体機能や認知機能の低下、脳卒中後の高次脳機能障害などは、転倒リスクを高くする要因になります。転倒予防の対策として、「(対象者は)今どんな気持ちなのだろう?」と考えてみることも重要です。運動やストレッチ、生活空間の環境を整える、福祉用具の活用など広い視野で転倒予防を考えていけると良いと思います。

2007年3月 : 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻卒業

2008年4月～ : 八千代リハビリテーション病院

2011年4月～ : 静岡リハビリテーション病院

<資格>

- ・認定理学療法士(脳卒中)
- ・福祉住環境コーディネーター2級
- ・3学会合同呼吸療法認定士

<論文>

- ・左半側空間無視を呈した重度脳卒中片麻痺者の無視症状の推移と移動能力. 静岡理学療法ジャーナル (39):25-30, 2019.
- ・多職種による下肢装具療法地域連携を進めていくための実態調査 - 理学療法士とケアマネジャーに対する質問紙調査 -. 静岡理学療法ジャーナル (37):33-37, 2018.

郵 送 用

一次締切： 9月7日（月）※消印有効
 最終締切： 9月28日（月）

令和2年度 高齢者の転倒予防講座～片麻痺と高次脳機能障害の理解～

受講申込書

静岡県社会福祉人材センター 行

令和2年 月 日

標記研修会について下記のとおり申し込みます。

ふりがな			経 験 年 数 <small>（現在の業種・職種での 経 験 年 数）</small>	年 月
氏 名	性別（ 男性 ・ 女性 ）			
職 種 名		施設・事業所 種別名		
施設名 事業所名		県社協会員・非会員 の区別に○をしてくだ さい。	会 員 ・ 非 会 員	
施設所在地	〒 ー			
	*電話連絡する際の担当者名（ ）	TEL	（ ）	
		FAX	（ ）	
	*休日・夜間等の緊急連絡先（ ）	TEL	（ ）	

- * 全ての欄に御記入ください。
- * 「職種名」には、「介護職」、「相談員」などを御記入ください。
- * 「施設種別名」の欄には、「特別養護老人ホーム」、「老人デイサービス」などの種別を御記入ください。
- * 御記入いただいた個人情報については、本講座以外に使用することはありません。

◎高齢者の転倒、片麻痺、高次脳機能障害について、困っていること、悩み等がありましたら御記入ください
 （当日の資料に掲載させていただく場合がありますので御了承ください。）

◆申込方法及び受講可否の御連絡◆

県社協会の施設・事業所様は、当会ホームページ上で研修にお申し込みいただける「WEB サービス」を御利用になれます。



WEB サービスページアドレス <http://www.shizuoka-wel.jp/learn/information/>

なお、従来どおり郵便でもお申し込みいただけます。
お申込方法及び受講可否の御連絡は、以下のとおりです。

	施設・事業所が県社協会の方 ↓ WEB で申込み	会員でない方 ↓ 郵便で申込み
研修の申込方法	操作方法は「WEB サービスページの御案内及び操作マニュアル」を御覧ください（平成 25 年 1 月送付済）。	受講申込書に必要事項を記入し、施設所在地・名称を記載した返信用封筒（切手貼付）を同封の上、下記までお送りください。 1 研修につき 1 枚の返信用封筒が必要です。
受講可否の連絡	募集締切後、おおよそ 1 週間以内に、申込みの際に入力した連絡先メールアドレスに受講可否の結果をメール送信します。	募集締切後、おおよそ 1 週間以内に受講可否の結果を郵送します。

◆郵便での申込先

〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1 番 70 号 静岡県社会福祉人材センター 研修課

◆問い合わせ先

研修申込みについては … TEL 054-271-2174（研修課）

受講者及び研修担当者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言（静岡県）については、去る5月14日に解除され県内の移動や訪問制限が緩和されました。

新型コロナウイルス感染のリスクが無くなった訳ではありませんが、「利用者に対するより良い介護(適切な介護)」を目指し、研修を再開します。

なお、研修の開催に当たり、静岡県社会福祉協議会として感染防止対策を実施しますが、感染防止を徹底するため、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

○研修担当者の皆様へ

研修の参加にあたり、研修時や移動時の感染リスク等を御考慮の上、お申込みください。

なお、研修前2週間以内に貴施設関係者の中に新型コロナウイルス感染症のPCR検査で陽性反応が出た場合には、研修の参加をお控えください。

また、研修後2週間以内に貴施設関係者の中に新型コロナウイルス感染症のPCR検査で陽性反応が出た場合には、直ちに事務局まで御連絡ください。

○研修参加者の皆様へ

以下の感染防止対策に御協力ください。

受講前

- ・当日の検温を行うとともに、体調不良等がある場合には参加しないでください。
(前日に高温の発熱があった場合には、当日解熱していても参加しないでください)
- ・他の受講者も施設従事者であることをふまえ、受講前2週間は特に感染防止に留意してください。

当日の公共交通機関利用時にも、感染防止対策としてマスクの着用をお願いします。

当日 (会場において)

- ・受付時に、非接触型体温計による検温を行います。発熱がある場合には参加をお断りします。
- ・アルコール消毒液 (又は次亜塩素酸水) を会場内に設置します。
受付時や入室時には必ず御利用ください。
- ・研修会場内では、マスクの着用を徹底してください。
- ・研修会場では、1テーブル2名以下で、余裕をもって着席してください。
- ・こまめに換気を行いますので、御承知おきください。(休憩時間等)
- ・こまめな水分補給をお願いします。(熱中症対策及び感染対策として)
- ・感染防止対策として、参加者の密着・接触を避けてください。
- ・研修中に体調が悪くなった場合には、直ちに申し出て、退出してください。